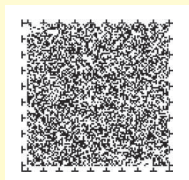
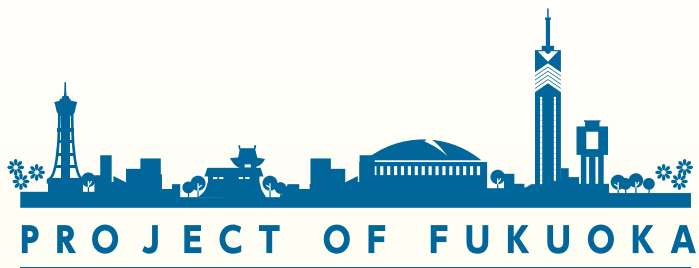


令和 8 年度

福岡市 主要施策概要



このマークは目の不自由な方などが
使う音声コードです。

令和8年度の施策推進にあたって

福岡市では、令和6年12月に策定した「第10次福岡市基本計画」において「生活の質の向上」と「都市の成長」の持続的な好循環を創り出すことを都市経営の基本戦略として掲げ、「人と環境と都市活力が高い次元で調和したアジアのリーダー都市」の実現を目指してまちづくりを進めています。

この「主要施策概要」では、令和8年度の市政運営において特に力を入れる5つの分野と、基本計画に掲げる8つの分野別目標に沿って、令和8年度に取り組む事業を紹介しています。

特に力を入れる5つの分野

- 1 次代を担う子どもの育成と若者の活躍促進
- 2 つながり、支え合い心豊かに暮らせる地域づくり
- 3 身近に潤いと安らぎを感じる持続可能な社会づくり
- 4 地域経済に活力を生む観光・MICEの推進と都心部機能の充実強化
- 5 スタートアップ等による新しい価値の創造

8つの分野別目標（基本計画）

生活の質の向上

- 1 一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝くまちづくり
- 2 すべての子ども・若者が夢を描きながら健やかに成長できるまちづくり
- 3 地域の人々がつながり、支え合い、安全・安心に暮らせるまちづくり
- 4 人と自然が共生し、身近に潤いと安らぎが感じられるまちづくり

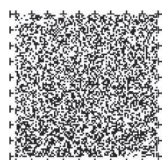
都市の成長

- 5 磨かれた魅力に人々が集い、活力に満ちたまちづくり
- 6 都市機能が充実し、多くの人や企業から選ばれるまちづくり
- 7 チャレンジ精神と新たな価値の創造により、地域経済が活性化したまちづくり
- 8 アジアのモデル都市として世界とつながり、国際的な存在感があるまちづくり

FUKUOKA NEXT

「FUKUOKA NEXT」は、この元気で住みやすいまちをさらに発展させ、将来に引き継いでいくために、福岡市を次のステージへと飛躍させる、様々なチャレンジの総称です。

この取り組みを果敢に進めることで、「人と環境と都市活力が高い次元で調和したアジアのリーダー都市」の実現を目指します。



福岡市のSDGsの取り組みについて

SDGsとは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略で、「誰一人取り残さない持続可能な社会」を実現するために、2015年の国連サミットで採択された、2030年を期限とする17の国際目標です。

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」に基づき、経済的な成長と心豊かな暮らしのバランスが取れた持続可能な都市づくりを進めることにより、SDGsの達成に取り組んでいます。



次代を担う子どもの育成と 若者の活躍促進

ライフスタイルが多様化する中、子どもを望む人が安心して生み育てられる環境づくりを推進するため、子育て世帯の住替え支援や乳幼児の一時預かりの拡充、学校給食の質の向上など、健やかなこどもの育成を図ります。

また、日本人大学生への留学奨学金制度を拡充し、若者が将来に夢を描き、チャレンジできる環境の実現を目指します。

健やかなこどもの育成

●子育て世帯の市内での住替えや 三世代同居・近居を支援



市内に住み続けたい子育て世帯や市内での三世代同居・近居を支援するため、転居する際の住宅取得費や家賃、引越し費用等を助成します。

予算 4億3,000万円

●子どもプラザの増設



乳幼児親子や妊娠中の方が、気軽に交流や相談ができる子どもプラザを増設します。

予算 2億5,371万円

●乳幼児健診の拡充

5歳児健診の試行を全区に拡大し、出生後から就学前まで切れ目のない健康診査の実施体制づくりを進めます。

予算 4億8,780万円

●ベビーシッター派遣の拡充

生後6か月になるまでの乳児のベビーシッター派遣費用の一部を助成します。増加するニーズに対応するため、事業者への補助増額や担い手確保の支援を行い、受け入れ体制を強化します。

予算 3,513万円

●一時預かりの拡充

子育て世帯のリフレッシュや用事、多様な働き方など様々なニーズに対応するため、実施施設の拡大に向けて、開設要件の緩和や開設時の支援、運営費補助金の増額を行います。

予算 2億1,239万円

●保育所の1歳児受け入れの促進

一定の条件のもと保育ニーズが増加している1歳児の受入枠拡大を実施した保育所への補助を実施します。

予算 6,048万円

●市独自の教員配置

子どもの学びの質の向上を図るため、教員の授業準備時間を十分確保できるよう、国の基準を超えて市独自に教員を配置します。(小学校20人、中学校12人)

予算 1億7,855万円

●学校給食の質の向上



学校給食の質の向上のため、献立の充実に必要なスチームコンベクションオーブン等の小学校への整備に着手します。

予算 2億9,085万円

●いじめに関する学校サポート事業

教育委員会事務局、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、弁護士等で構成するプロジェクトチームによる調査研究及び学校への支援を実施します。

予算 358万円

●大学等との協働による不登校児童生徒の 実態および支援ニーズ調査

不登校児童生徒及び保護者の実情や支援ニーズを把握するため、大学等との協働による調査を実施します。

予算 470万円

●放課後等の体験・遊び・居場所づくりのモデル実施

小学生を対象に、放課後の学校における様々な体験活動や自由な遊び場等を通じた居場所づくりを7校でモデル実施します。

※うち3校は体験活動のモデル実施として令和7年度から継続

予算 8,353万円

サポートを必要とする子どもたちやその家族の支援

●保育所の医療的ケア児等受入体制の強化

医療的ケア児や重い障がいを持つ児童の受入れに向けて、看護師や保育士を常時確保する保育所を指定し、支援します。

予算 6,306万円

●医療的ケア児の支援

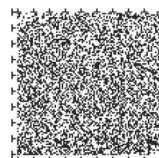
医療的ケア児の家族の負担軽減のため、自宅等での訪問看護の利用時間を年48時間から年104時間に拡充するとともに、相談支援を充実させます。

予算 1億2,409万円

●医療的ケアが必要な児童生徒への宿泊行事参加支援

修学旅行等の宿泊行事に安心して参加するための訪問看護師等の同行にかかる費用を支援します。

予算 448万円



次代を担う若者の支援

●日本人大学生留学奨学金

(グローバルチャレンジ応援奨学金)

海外留学を希望する人材を応援・後押しし、福岡の将来を担うグローバル人材を育成するため、福岡よかトピア国際交流財団が実施する奨学金事業の対象者拡大を支援します。

予算 2,881万円

2

つながり、支え合い 心豊かに暮らせる地域づくり

医療的ケアが必要な方やその家族が安心して暮らせる環境を整えるため、在宅レスパイトの拡充や宿泊行事における看護師の付き添い支援などを実施します。

また、障がい者スポーツセンターの移転建替による機能強化に向けた基本構想を策定し、誰もが挑戦できる環境づくり、交流が生まれる場の創出を目指します。

何歳でも元気に活躍し、誰もが安心して暮らしやすいまち

●福岡100の推進

福岡100

何歳でも
チャレンジできる
未来のまちへ

人生100年時代の到来を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく活躍できる社会をめざす「福岡100」を、産学官民オール福岡で推進します。

●福岡100プラザ



福岡100プラザについて、高齢者の社会参加の拠点施設として、施設改修やコーディネーター配置等を行い、新しいチャレンジを応援します。

予算 4億2,912万円

●ユマニチュードの国際会議の開催

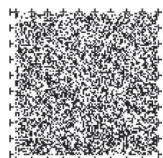
ユマニチュードを用いた福岡市などの先進的な取り組みや課題を国内外の専門家が共有・議論することで、市内介護施設等の取り組みでの活用や、地域全体でのユマニチュードの普及を促進するとともに、より質の高いケアの実現に向けた国際的な連携を推進します。

予算 3,252万円

●介護予防の新たな仕組みづくりの検討

要介護への移行を予防するため、加齢に伴い、心身の機能が低下している高齢者への早期のアプローチや継続的な支援の仕組みの検討などに取り組みます。

予算 1,119万円



このマークは目の不自由な方などが
使う音声コードです。

●訪問型在宅レスパイト事業の

利用時間の試行拡充の継続実施

医療的ケアが必要な障がい者に対し、看護師が家族に代わり医療的ケアを伴う見守りを行う訪問型在宅レスパイト事業について、24時間人工呼吸器の使用に対する利用時間の試行拡充を継続実施します。

予算 7,176万円

●障がい者スポーツセンターの基本構想策定

すべての障がい者がスポーツを楽しみ、挑戦し、障がいの有無に関わらずスポーツを通して交流が生まれるインクルーシブなスポーツセンターとなるよう、移転建替による機能強化に向けた基本構想を策定します。

予算 3,542万円

●文化芸術鑑賞サポート推進事業

字幕、手話通訳、音声ガイド等の鑑賞サポートを実施する団体に対し、費用を助成することで、障がい者等の文化芸術の鑑賞機会の充実を図ります。

予算 453万円

3

身近に潤いと安らぎを感じる 持続可能な社会づくり

街中に花や緑があふれ、市民が身近に潤いと安らぎを感じられるまちづくりを目指すため、花をテーマとした国際イベント「Fukuoka Flower Show」の開催やPark-PFI制度を活用した魅力ある公園づくりなど都市の緑化に取り組みます。

また生活に身近な公園の利用環境の改善を図るなど、よりクリーンで快適なまちづくりを進めます。

花と緑があふれるまち

●都心の森1万本プロジェクト

市民や企業と共働で全市域に植樹運動を展開し、みどり豊かなまちづくりを推進します。



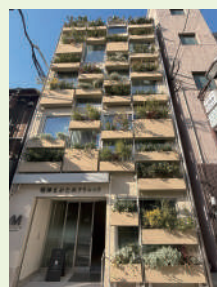
●公共施設の緑化推進

市庁舎などの公共施設等において、民間建築物を先導する緑化に取り組みます。



予算 6億5,229万円

●民有地の緑化促進(グリーンビル促進事業)



集合住宅のベランダや都心部のオフィスビル等の緑化へ助成するとともに、容積率緩和制度も活用し、緑化を促進します。

予算 1億1,892万円

●街路樹の充実

季節を感じられる街路樹の新植や街路樹サポーター制度による美化等に取り組みます。

予算 5,752万円

●「花をテーマとしたMICE」

Fukuoka Flower Showの開催



「Fukuoka Flower Show2027」を令和9年春に植物園で開催します。あわせて、まちなか花装飾の核となるサテライト会場を市役所西側ふれあい広場に設置します。

予算 9,013万円

●Park-PFI制度による公園の活用推進



明治公園（提案時パース）

Park-PFI制度を活用し、花や緑で彩られた居心地の良い空間や、賑わいと憩いの場の創出など、魅力あふれる公園づくりに取り組みます。

予算 2,454万円

新たな価値を生み出すまち

Fukuoka Art Next

●アートイベント「FaN Week」の開催

美術館やアジア美術館、Artist Cafe Fukuokaに加え、民間企業と連携して様々なアート作品を展示するとともに、作品鑑賞だけでなく、作品購入やアーティストとの交流といった、様々なアートの楽しみ方を市民等に提供する「FaN Week」などを開催します。

予算 8,970万円

●「Artist Cafe Fukuoka」の運営、機能強化

アーティストの成長・交流拠点として、相談対応や企業マッチング、作品展示や滞在制作及び海外出展の機会提供、アーティスト同士や市民との交流イベントなど、アーティストに合わせた支援を実施します。また、展示・交流の機能を強化するためなどの改修工事を引き続き実施します。

予算 2億3,007万円

●コレクション展の魅力強化

外部人材を登用し、コレクションの魅力を引き出す展覧会の企画や展示空間の演出を実施するとともに、広報強化に取り組みます。

予算 1億884万円

●アジア美術館の魅力向上

警固公園地下への施設拡充に係る基本設計を実施するとともに、令和9年度開催予定のアジアの最新の美術動向を示す展覧会に向けた調査・準備を行います。

予算 1億3,748万円

環境にやさしく快適なまち

●よりクリーンで快適な公園づくり

身近な公園における除草やトイレ清掃等管理の充実、トイレの洋式化に取り組みます。

予算 1億3,611万円

●より安全で快適な道路環境整備

安全で快適な道路環境の整備に向けて、車線分離線などの区画線の引き直しや歩道のがたつき解消に取り組みます。

予算 11億5,185万円

●「福岡市脱炭素戦略2040」の策定

国全体での温室効果ガス排出量の削減目標が設定されたこと等を踏まえ、福岡市における2040年度目標や取り組み方針など、「2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロ」に向けたロードマップとなる「福岡市脱炭素戦略2040」を策定します。

予算 2,633万円

●国産ペロブスカイト太陽電池の導入支援事業

市内事業者のペロブスカイト太陽電池導入および導入に向けた実証実験に係る費用の一部を補助します。



予算 2,000万円

●国産ペロブスカイト太陽電池の率先導入事業

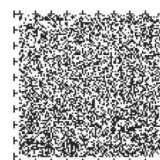
ペロブスカイト太陽電池の特徴を活かした市有施設への設置および発電した電気を実感できる等の効果的な啓発を行います。

予算 9,731万円

●「Fukuoka ゼロカーボンゲート」推進事業

脱炭素に係る総合支援窓口「Fukuoka ゼロカーボンゲート」を開設し、新技術の実装や、新たなビジネスモデルの構築を推進します。

予算 500万円



●プラスチック分別収集の開始



令和9年2月のプラスチック分別収集の開始に向け、引き続き効率的なリサイクル体制の構築に取り組むとともに、ルールブックの全戸配布や特設ホームページ

による周知、説明会の実施など、様々な機会や媒体を活用した効果的な広報啓発を実施します。

予算 4億5,695万円

●地域や回収事業者と連携した

古紙の出しやすい環境づくり

古紙の出しやすい環境づくりのため、地域や回収事業者と連携した新たな古紙回収方式のモデル事業を実施し検証を行います。

4

地域経済に活力を生む観光・MICEの推進と都心部機能の充実強化

鴻臚館の復元整備など歴史・文化も活かした観光振興を進め、観光・MICEの持続的な発展をめざします。

また、都市交通を次のステージを進めていくべく、地下鉄七隈線の6両編成化の検討や駐車場ナビの博多駅地区への拡大に取り組みます。

加えて、地下鉄箱崎線と西鉄貝塚線の直通運転化や、井尻駅周辺の連続立体交差化、福岡空港や姪浜への地下鉄延伸の実現可能性などについて検討を行います。

歴史や伝統文化・自然を活かした観光の推進

●福岡城・鴻臚館における観光振興事業



鴻臚館の復元整備に合わせた福岡城・鴻臚館エリアのブランディングや装飾等の設置、情報発信強化に取り組みます。

予算 1億1,771万円

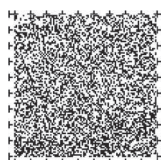
●明治通り(舞鶴公園エリア)歩道の再整備

舞鶴公園エリアにおいて、国史跡福岡城跡・鴻臚館跡などの歴史資源を活かした魅力向上を図るため、明治通りについて、公園内の景観と調和した歴史を感じる歩道の再整備に取り組みます。

予算 4億9,200万円

●鴻臚館整備・活用事業

鴻臚館東門及び堀の一部の復元整備や、映像コンテンツを活用した鴻臚館跡展示館のリニューアルに取り組みます。



予算 12億3,241万円

このマークは目の不自由な方などが使う音声コードです。

●福岡城天守の調査



福岡城のかつての状況を確認するため、天守に関する文献調査や発掘調査等を実施します。

予算 6,034万円

●博多旧市街プロジェクト



歴史・文化に配慮した趣ある道路整備に取り組むとともに、寺社等と連携した体験型コンテンツ造成に取り組みます。また、冷泉小学校跡地における歴史・伝統文化の体験や観光情報発信機能等を備えた伝統継承施設の基本計画策定に取り組みます。

予算 2億6,101万円

●Fukuoka East&West Coastプロジェクト



志賀島・北崎地区において、海辺の観光周遊促進に向け、サイクルツーリズムの推進、志賀島地区における市営渡船と連携したイベント開催、北崎地区における立ち寄りスポット



の整備や自然環境と調和した道路整備等を進めます。

予算 2億6,096万円

付加価値の高い観光の推進

●広域連携誘客事業



欧米豪を始め、幅広い国・地域からの誘客を図るため、「西のゴールデンルート」の取組み等により、海外の現地旅行会社・メディアへのプロモーションや広域周遊ルートの磨き上げ、旅行商品の開発促進等を行います。

予算 9,170万円

●高付加価値旅行の推進による誘客事業

付加価値の高い観光を推進し、量から質へのさらなる転換を図るため、地域の観光関連事業者による特別な体験型商品の開発支援や、コンシェルジュを養成するセミナーの実施、海外旅行博への出展によるプロモーション等に取り組みます。

予算 6,859万円

観光客の来訪に対する市民の満足度向上

●観光と市民生活の調和促進事業

観光客増加に伴う、まちなかや公共交通機関における混雑やマナー問題に対応するため、手ぶら観光の推進や天神地区等でのマナーに関する声かけ等啓発を強化します。

予算 9,686万円

都心部等のまちづくり

●天神ビッグバン

天神未来創造



航空法高さ制限の特例承認や市独自の規制緩和などによる、耐震性の高い先進的なビルへの建替えとあわせ、更なる緑化の推進など、緑や水辺、文化芸術、歴史などが持つ魅力に磨きをかけ、多くの市民や企業から選ばれるまちづくりに取り組めます。

●博多コネクティッド



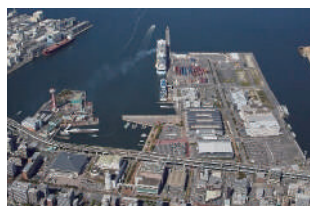
交通基盤の拡充とあわせ、規制緩和などによって耐震性が高い先進的なビルへの建替えを誘導し、駅周辺地区との回遊性の向上や、多様な個性や豊かさを感じられるまちづくりに取り組むことで、博多駅の活力と賑わいを周辺につなげていきます。

●市庁舎周辺道路の再整備

市庁舎周辺の道路は、建設から約30年が経過し、更新時期を迎えていることから、まちづくりによって生み出される空間と調和した、みどり豊かで賑わいを感じる道路整備に向けた検討に取り組みます。

予算 2,500万円

●ウォーターフロント再整備の推進



市民や来街者が楽しめる魅力あるまちづくりに向けて、港湾の人流機能の再編や施設老朽化等を契機として、地区全体の将来像やMICE機能強化に向けた検討等を行います。

予算 9,365万円



FUKUOKA Smart EAST

●九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり

地域と共に創り上げたグランドデザインの実現に向け、先進的なまちづくり「Fukuoka Smart East」に取り組みとともに、まちづくりに関する調整や土地区画整理事業等の基盤整備などを進めます。

イノベーション拠点等（イメージ）



予算 34億6,371万円

●まちづくりへの水素実装

九州大学箱崎キャンパス跡地において、水素供給パイプラインを整備するとともに、水素ステーション等の事業者公募に向けた取組みを実施する。

予算 5億7,424万円

都市交通を次のステージへ

●七隈線の混雑緩和策

地下鉄七隈線の更なる混雑緩和に向けて、令和8年度から9年度で計4編成を増備するとともに、6両編成化の検討を進めます。

予算 30億2,059万円

●福岡市駐車場ナビの博多駅地区への拡大

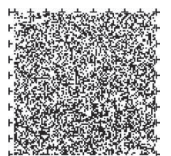
駐車場の空き待ちによる渋滞や、空き駐車場を探し回る「うろつき交通」を軽減するため、スマートフォン等で駐車場の空き状況などを確認できる満空情報システム「福岡市駐車場ナビ」を天神地区から博多駅地区へ拡大し、PRIに取り組みます。

予算 2,280万円

●総合交通体系づくり

総合交通体系づくりに係る調査・検討や、地下鉄箱崎線と西鉄貝塚線の直通運転化、井尻駅周辺の連続立体交差化、地下鉄延伸（福岡空港、姪浜橋本間）の実現可能性の検討に取り組みます。

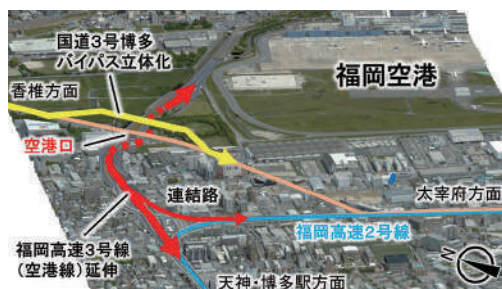
予算 2,500万円



このマークは目の不自由な方などが使う音声コードです。

●自動車専用道路の整備

福岡市の南部地域や太宰府方面から福岡空港へのアクセス強化を図るため、福岡高速3号線延伸事業を推進します。



予算 9億4,000万円

●天神通線の整備

天神地区における交通混雑の緩和やバスの定時性確保などを図るため、天神通線の整備に取り組みます。

予算 1,240万円

5 スタートアップ等による新しい価値の創造

人々の価値観や社会のニーズの変化に対応するため、先進技術を活用した社会課題の解決に取り組むとともに、地場企業のチャレンジを支援するなど、産業の振興と雇用の創出を図ります。また、世界で活躍するグローバル人材やその家族にも住みやすいまちづくりを推進し、継続的にイノベーションが生まれるアジア有数のスタートアップ拠点都市の形成を目指します。

新たな価値を生み出すまち

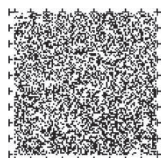
●ソーシャルスタートアップ成長支援事業

社会課題解決を目指すスタートアップの経営基盤強化に係る支援に加え、さらなる成長に向けた伴走支援を実施します。

予算 3,969万円

●半導体関連産業の振興

半導体関連企業の円滑な立地を支援する官民ネットワークを構築するとともに、新サービス・新製品のアイデア創出や企業間の連携を促進するため、分野や職種を超えて交流できるイベントを実施します。



予算 523万円

●福岡市水素ステーションの運営



福岡市水素ステーションの水素圧縮機等の設備改修を行い、営業を再開するとともに、予防保全を実施し安定的な運営に取り組みます。

予算 4億224万円

●水素自動車(FCモビリティ)の導入促進

Moving eや給食配送車等を活用した水素の普及啓発に取り組むとともに、環境局と連携してごみ収集車を運用します。



予算 1億4,798万円

●スタートアップ支援施設の運営等

スタートアップカフェおよびスタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」を運営し、スタートアップ企業のさらなる成長や既存中小企業の第二創業を促進することにより、福岡市のスタートアップエコシステムを代表し、牽引するスタートアップを輩出します。

予算 3億4,567万円

●グローバルスタートアップ推進事業

市内や海外のスタートアップ拠点との連携を活かしたビジネスマッチング支援や、イベントの開催、出展に加え、イベントにおける商談成果の最大化に向けた伴走支援などにより、グローバルに活躍できる創業の環境づくりを促進します。

予算 2億857万円

●エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進

エンジニアカフェにおいて、先端技術やビジネス等の知見に長けたスタッフを配置し、サービス設計等を支援するとともに、エンジニアの育成・発掘に繋がるイベント等を実施し、新サービス・新製品の創出を促進します。



予算 1億999万円

「生活の質の向上」と「都市の成長」の持続的な好循環

福岡市の「住みやすさ」に磨きをかけて市民生活の質を高め、質の高い生活が人と経済活動呼び込むことで都市が成長し、その成長の果実によりさらに生活の質を高めるという持続的な好循環を創っていきます。

ここからは、この好循環を創り出すための8つの分野別目標について、各事業を詳しく紹介します。

生活の質の向上

1 一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝くまちづくり



多様な市民が輝く「ユニバーサル都市・福岡」の推進

●昇降機の増設

駅バリアフリールート of 充実及び観光客などの移動円滑化の推進を図るため、昇降機の増設に取り組みます。



■ 予算 1億9,214万円

●在住外国人に関する取組強化

地域住民が安心して暮らせる生活環境を守り、在住外国人が地域コミュニティの一員として生活できるよう、生活ルール・マナーの啓発や、区における取組みを強化します。

■ 予算 6,191万円

一人ひとりが健やかで心豊かに暮らせる社会づくり

●今宿野外活動センターリニューアル



令和9年3月のリニューアルオープンに向け、博多湾を臨む展望デッキやテラスの整備を進めるとともに、カフェやキャンプ事業など民間活力による魅力を創出します。

■ 予算 6億3,876万円



●ボートレース福岡パーク化事業

ボートレース場の施設を有効活用し、多くの市民の方々に楽しんでいただける場の提供と新規顧客の獲得を図っていくため、スケートボード場を核とするパークの整備を進めます。



■ 予算 6億8,736万円

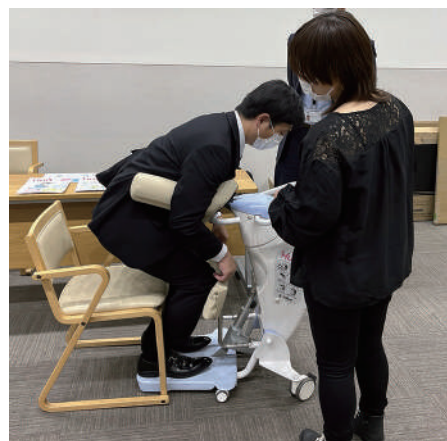
すべての人が安心して暮らせる福祉の充実

●介護スマートDXプロジェクト



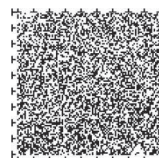
SOU!かいじ
添う・沿う・そう！

介護事業所におけるDXを推進するため、介護テクノロジーの導入・活用支援を行うとともに、ノーリフトケアの更なる普及に向けて、介護従事者への研修などを実施します。



ノーリフトケア研修の様子

■ 予算 1,403万円



このマークは目の不自由な方などが使う音声コードです。

2

すべての子ども・若者が夢を描きながら
健やかに成長できるまちづくり



困難を抱える子どもや若者を支え、
誰もが健やかに成長できる社会づくり

●子どもの食と居場所づくりの支援

子どもへの食事の提供と居場所づくりを行う民間団体に対して補助金交付等を実施し、新たに学校の長期休業中の開催回数に応じて補助金を加算します。



予算 3,981万円

自ら学び続け、他者を尊重し、
協働できる子どもの育成

●学力パワーアップ総合推進事業

小学校において放課後補充学習を行う支援員を増員(292人→355人)するとともに、教員を対象とした授業改善につながる研修会を実施します。

予算 4,163万円

将来に夢や希望を抱き、
意欲と志を持ってチャレンジする人材の育成

●中高生の多様な職業体験機会等の創出

地場企業や大学・専門学校等の協力のもと、中学生や高校生が様々な職業分野の話を聞き、体験する機会を創出し、将来について考えるきっかけづくりに取り組みます。

予算 503万円

●市立高等専門学校整備事業

高度デジタル人材を育成する市立高等専門学校の設置に向けたカリキュラムの検討や施設設計等を実施します。

予算 9,267万円

3

地域の人々がつながり、支え合い、
安全・安心に暮らせるまちづくり



つながりと支え合いの基盤となる
地域コミュニティの活性化

●地域ポイント事業

地域活動への感謝の気持ちをポイントとしてお渡しすることで、地域活動の活性化や支援につなげます。

【事業の流れ】



予算 5,855万円

●民生委員活動へのデジタルの活用支援

民生委員活動の負担軽減を図るため、オンライン会議・情報共有が可能なアプリの導入を支援します。

予算 425万円

●消防団アプリ導入事業

消防団活動における情報共有の迅速化や事務負担の軽減を図るため、活動を支援するスマートフォンアプリ(消防団アプリ)を導入します。

【消防団アプリのイメージ】

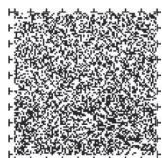


予算 1,775万円

●地域の担い手づくり・若者の参加促進プロジェクト

地域活動への参加促進と担い手の負担軽減に向けて、電子回覧板活用支援や町内会等事務のデジタル化講座など、地域活動のデジタル化を支援します。

予算 334万円



生活の利便性が確保された地域のまちづくり

● AI活用推進事業

子育てに関する市情報サイト等へのAIチャットボット搭載や、電話窓口へのAI電話の導入を進め、市民サービスの向上に取り組みます。また、AI活用に係る職員研修や職員向けのAIチャットボットの導入を進め、業務効率化に取り組みます。

予算 5,581万円

● 立ち寄りたくなる公民館プロジェクト

スマートロックの試行やLINE WORKSの導入等により、公民館の利便性向上と運営業務効率化を図ります。また、気軽に来館いただくきっかけとなる取組みを推進します。

予算 2,473万円

● 南区における地域交流センターの検討

南区における地域交流センターの整備に向けた基本計画や周辺交通対策の検討を進めるとともに、整備予定地の造成設計等を実施します。

予算 7,569万円

● 区庁舎老朽化対策の推進

整備から長期間が経過している三区庁舎(東区・南区・早良区)の更新を踏まえたあり方を検討します。

予算 2,301万円

● 中央市民センターのリニューアル



令和9年夏頃のリニューアルオープンに向け、防災機能の強化やバリアフリー化等の改修工事を進めます。

予算 29億6,722万円

● 早良区役所周辺のまちづくり

更新期を迎える多数の公共施設が立地する早良区役所周辺において、市民の利便性向上と周辺まちづくりに寄与する計画的・効果的な更新のあり方を検討します。



予算 600万円

● 持続可能な生活交通の確保

バス路線の休廃止に伴う公共交通空白地への代替交通確保を行うとともに、公共交通不便地等において拡充した支援制度を活用し、運行エリアを新たな地域に広げるなど、地域の実情に応じた持続可能な生活交通の確保に取り組みます。



今宿浜線 なぎさ号



チョイソコふくおか

予算 2億6,169万円

安全で快適な生活基盤の整備と 災害に強いまちづくり

● 地域防災計画の全面的な見直し

災害対策の実効性を更に高めるため、新たな被害想定等も踏まえ、ハード・ソフト両面から防災対策を検証・検討し、地域防災計画の全面的な見直しに取り組みます。

予算 2,268万円

● 公的備蓄の確保

想定避難者数の増加に対する当面の対策として、発災当日に必要な食料や水、生活用品などの備蓄物資を確保します。

予算 4億8,083万円

● T(トイレ)K(キッチン)B(ベッド)の充実と展開訓練

避難生活における健康被害や災害関連死を抑制するため、災害時に被災者に優しい避難所環境を円滑に提供できるよう、災害時応援協定を締結している団体や地域住民と連携し、各区において訓練を実施するとともに、簡易ベッドやパーティションを増量します。

予算 1億738万円

● コーディネーターの活用などによる個別避難計画の作成支援

コーディネーターを活用したきめ細かな支援やケアマネジャー等との連携などにより避難行動要支援者の個別避難計画の作成を進めます。

予算 2,571万円

● 中小河川監視体制の強化

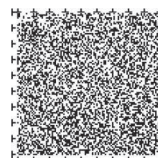
大雨時の河川水位の状況をリアルタイムで把握するため、中小河川に水位計及び監視カメラを増設します。

予算 8,352万円

● 民間建築物等の耐震化の促進

住宅の耐震改修等への補助を実施するとともに、耐震診断やブロック塀除却等への補助を拡充します。

予算 2億3,481万円



このマークは目の不自由な方などが
使う音声コードです。

●浸水対策の推進

雨水整備Dプラン2026に基づく雨水排水施設の整備などの浸水対策に取り組みます。引き続き、気候変動の影響などを踏まえ、新たな雨水整備計画の策定にも取り組みます。

予算 50億5,400万円

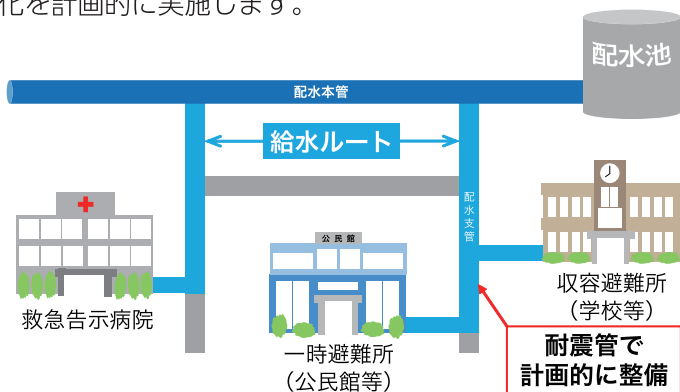
●配水管の整備

約4,100kmに及ぶ配水管について、実質的な耐用年数内に順次更新ができるよう計画的に更新工事を推進します。

予算 124億3,500万円

●第2次耐震ネットワーク工事の推進

地震等災害が頻発化・激甚化している現状を踏まえ、福岡市地域防災計画の改定によって追加となった収容避難所等に加え、一時避難所を対象施設とし、給水ルートの耐震化を計画的に実施します。



予算 5億5,077万円

●重要施設の耐水化

洪水や高潮浸水、土砂災害に備え、浄水場や取水場等の重要な水道施設や災害対策の拠点である水道局本庁舎において、耐水化のための対策強化を図ります。

水道局本庁舎の電源喪失対策



予算 2億1,340万円

日常生活における安全・安心の確保と地域福祉の推進

●防犯カメラ補助制度の拡充

防犯カメラ設置費用の補助に加えて、維持管理にかかる電気料金、保守・点検費用について補助を開始します。

予算 7,673万円

●SNS人権侵害救済サポート

SNS等で誹謗中傷などの人権被害を受けた方を対象に、24時間対応のチャットボット相談窓口の設置や、削除依頼などの手続き支援を実施します。また、案件に応じ、無料の弁護士相談にもつなぎます。

予算 1,213万円

●RSウイルスワクチン定期接種を開始

生まれる子どものRSウイルス感染症予防のため、妊娠28週から36週の妊婦を対象に無料で接種を実施します。

予算 3億8,854万円

●新しい市民病院の基本構想を策定

市民病院の移転整備に向けて、医療機能や施設などについて検討し、基本構想を策定します。



現在の市民病院（博多区吉塚本町）

予算 2,918万円

●動物愛護管理センター基本構想の策定

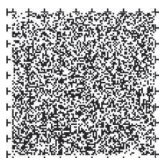
今後のセンターのあり方について外部検討を行い、センターの将来像や再整備の手法、スケジュールなどに関する基本構想を策定します。

予算 982万円

●救急需要対応の効率化の推進

救急需要の増加に対応するため、マイナ救急の運用と救急ステーションの運用により、救急活動の効率化と現場到着時間の短縮を図ります。

予算 623万円



●アイランドシティ新設出張所整備

アイランドシティにおけるまちづくり・みなとづくりの進展や人口の増加などによる消防・救急需要に的確に対応するため、新たに消防出張所を整備します。

予算 5億8,474万円

●消防学校機能強化

激甚化、多様化する災害に即した実践的な教育訓練施設を整備します。

予算 9億2,481万円

●消防指令管制情報システム全面更新

福岡都市圏の消防本部で共同運用する消防指令管制情報システムの全面更新に向けた設計等を実施します。

予算 7,113万円

4

人と自然が共生し、身近に潤いと
安らぎが感じられるまちづくり



都市と自然が調和した
コンパクトで個性豊かなまちづくり

●花粉発生源対策関連事業

スギ・ヒノキ人工林の植替えを加速化させるため、市独自の支援策として、林業機械リース経費や伐採木運搬経費補助に取り組むとともに、地域産材の利用拡大を図ります。



予算 3億4,251万円

●分かりやすい案内サインの検討

より良好な街並みを形成するため、モデル地区(天神)における実証及びガイドラインの策定に取り組み、案内サインの統一を進めます。

<現状>
Before



<デザイン改善イメージ>
After



※デザインは案段階のイメージです

予算 2,319万円

●屋外広告物の適正化の推進

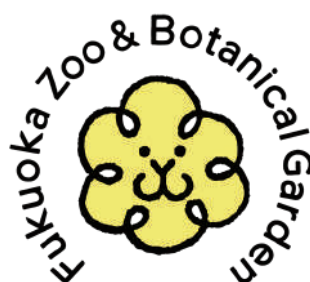
広告宣伝車への対応に係る広報・啓発及び違反に係る指導等を行うなど、屋外広告物の適正化を推進します。

予算 1,066万円

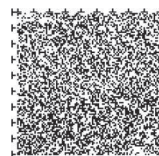
花や緑などによる
潤いや安らぎを感じるまちづくり

●動植物園のリニューアル

動物の生態をより見やすく学べる生息環境づくりや、1年中学び楽しめる植物展示など、魅力的な動植物園再整備に向け、トラ・ライオンエリアのリニューアルに着手します。



予算 8,804万円



このマークは目の不自由な方などが
使う音声コードです。

都市の成長

5

磨かれた魅力に人々が集い、
活力に満ちたまちづくり



人々を魅了する エンターテインメント都市づくり

●アニメ人材確保等イベント開催事業

アニメ関連企業の人材確保や「アニメ都市」としての認知度向上を目的としたイベントを、規模を拡大し開催することで、市内アニメ関連企業の成長とアニメ関連企業の集積を目指します。



■ 予算 1,938万円

6

都市機能が充実し、多くの人や企業から
選ばれるまちづくり



様々な都市機能が集積した 魅力・活力創造拠点づくり

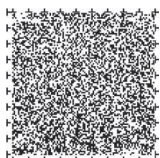
●博物館リニューアル推進事業

幅広い観光客をターゲットとした文化観光の拠点や文化を次世代へ継承する拠点等としての機能向上を目指し、リニューアルに向けた事業者の公募手続きを進めるとともに、南側広場整備工事を実施します。

■ 予算 13億8,699万円

●先端技術拠点形成促進事業

投資家とのマッチングやメンタリング等の実施により、国内大学発の先端技術系スタートアップの市内拠点開設を促進します。



■ 予算 926万円

このマークは目の不自由な方などが
使う音声コードです。

7

チャレンジ精神と新たな価値の創造により、
地域経済が活性化したまちづくり



地場中小企業の競争力強化などによる 地域経済の活性化

●デジタル活用支援事業

デジタルツールを活用した生産性向上を支援するため、市内中小企業の実態を把握しながら、オンライン相談、人材育成や専門家による伴走支援などを実施します。

■ 予算 1,520万円

農林水産業とその関連ビジネスの振興

●イノシシ被害対策事業

イノシシによる被害防止を図るため、被害対策の基本である「個体群管理(捕獲)」「侵入防止対策(防除)」「生息環境管理」の取組みを推進します。

■ 予算 5,322万円

●次代へつなぐ地産地消推進事業

魅力ある市内産農水産物の学校給食への提供と、生産者による講話や生産の様子が分かる動画の配信により、児童・生徒の理解や愛着を深め、将来にわたって持続可能な地産地消を推進します。

■ 予算 2億375万円

●福岡市内産花き魅力向上事業

高付加価値な花きの生産に向け、花き農家と花関連事業者との意見交換会等を実施します。

■ 予算 618万円

●海業推進事業

漁村地域の活性化を図るため、漁港内の遊休地等の活用や民間活力の導入に取り組みます。

■ 予算 1,539万円

●鮮魚市場の機能更新・向上事業

鮮魚市場のさらなる活性化に向け、旧東冷蔵庫棟を活用した活性化施設の事業者公募を実施します。

■ 予算 2,419万円

アジアのモデル都市として世界とつながり、国際的な存在感があるまちづくり



成長を牽引する物流・人流のゲートウェイづくり

●物流機能の強化

コンテナターミナルと一体となった国際物流拠点の形成を図るため、物流施設の集積に向けた基盤整備を進めるなど、物流機能の強化に取り組みます。

予算 18億5,133万円

●人流機能の強化

クルーズの誘致及び受入体制の確保や、国際定期機能の中央ふ頭東側への早期移転に取り組むとともに、国内定期機能の現地建替や移転の検討などを行います。

予算 4億4,443万円

●博多港脱炭素化推進事業

(カーボンニュートラルポート形成推進)

博多港におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた取組みを官民で連携して推進します。

- ・市有船舶におけるバイオ燃料の活用
- ・臨港道路等における照明のLED化
- ・コンテナターミナルにおける太陽光発電設備の導入

など

予算 2億2,071万円

●空港利活用の推進等

国内線、国際線ともに豊富な路線・便数を有する福岡空港の強みを活かし、空港運営会社等と連携して航空路線のさらなる充実強化や利用促進に取り組みます。

予算 4億450万円

国際的なビジネス交流の促進とグローバル人材にも住みやすいまちづくり

●姉妹都市交流推進事業



NZオークランド市姉妹都市締結40周年記念事業などを通して姉妹都市との相互理解の促進や経済交流等の推進を図ります。

予算 4,859万円

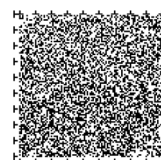
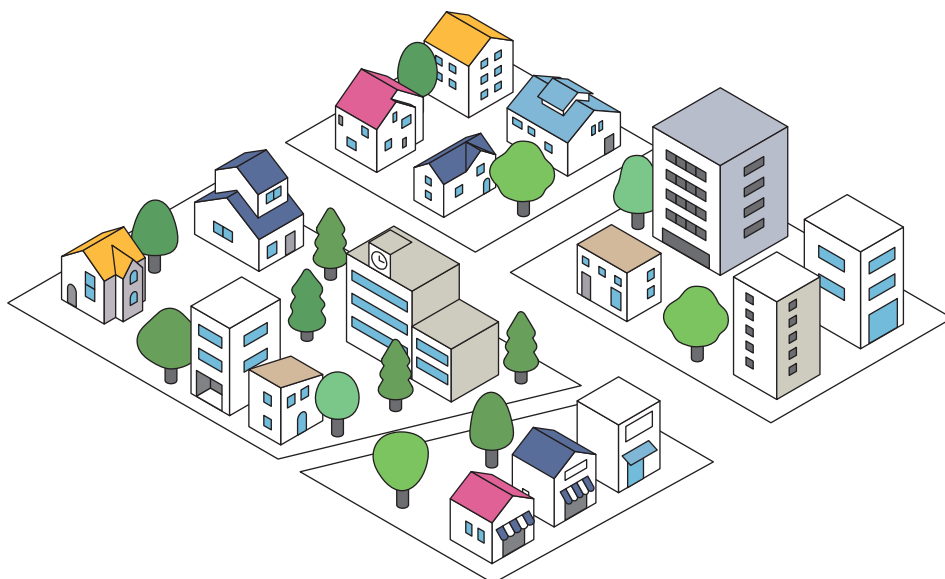
国際貢献・国際協力の推進と国際会議の誘致

●アジア太平洋都市サミットの開催



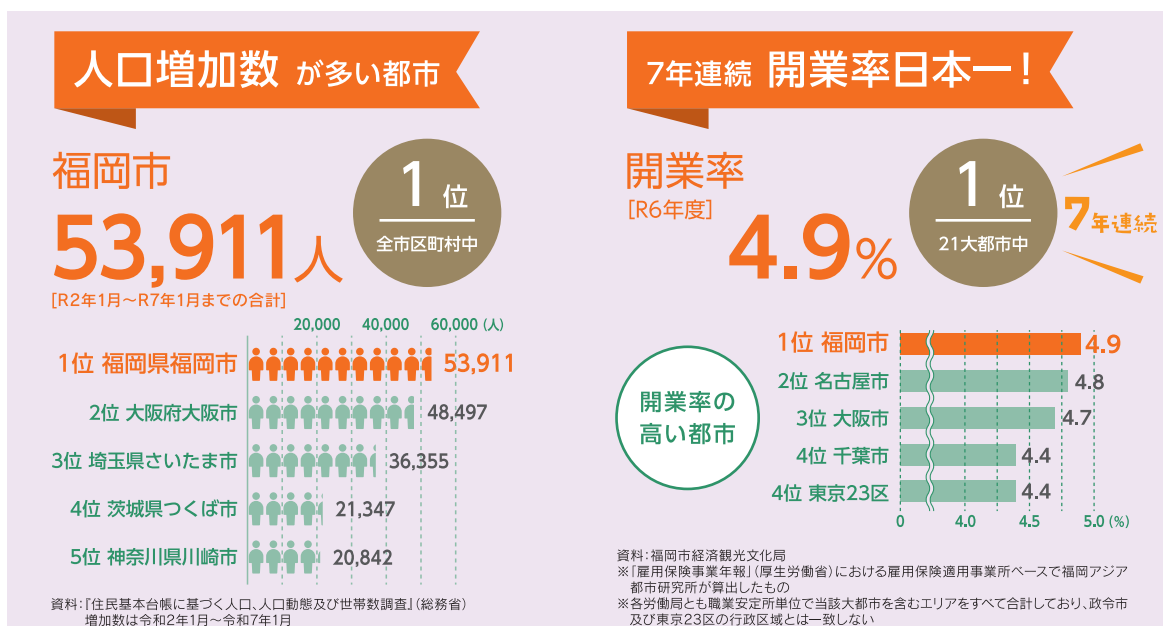
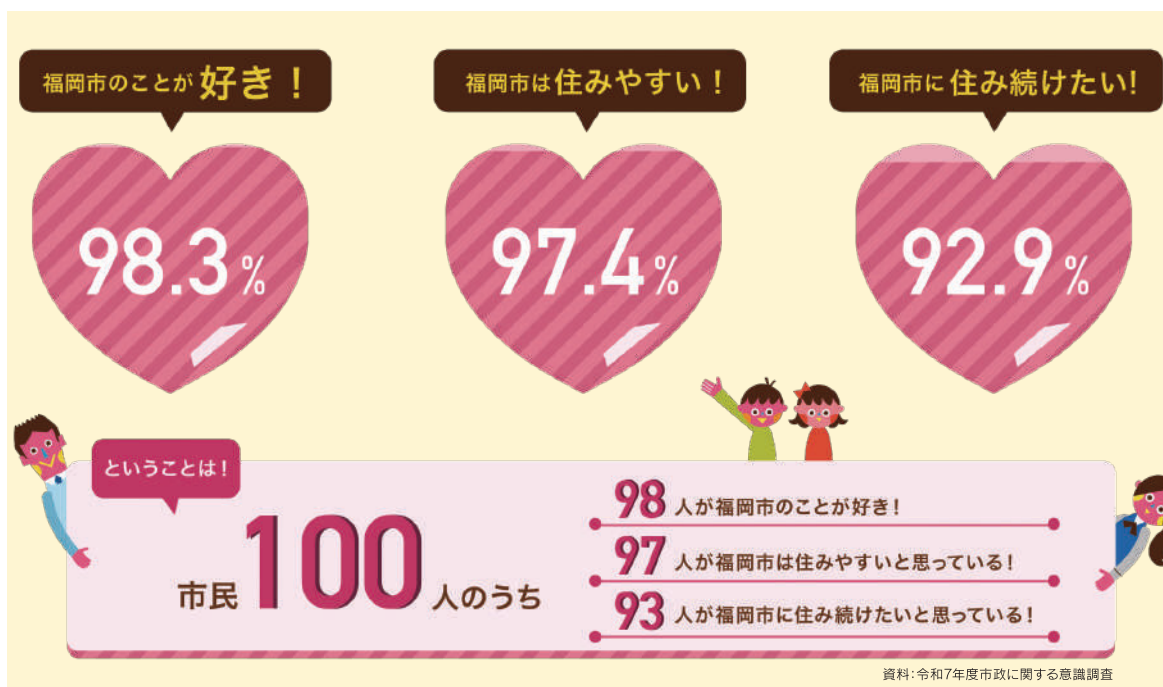
アジア太平洋地域における都市問題の解決に寄与するため、福岡市が設立し15か国34都市が加盟する国際首長会議を開催します。

予算 1億6,422万円



福岡が好き！ 住みやすい！ 住み続けたい！

— 令和7年度市政に関する意識調査 —

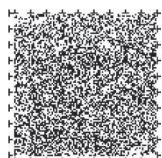


Fukuoka Facts データでわかるイトコ福岡

<https://facts.city.fukuoka.lg.jp/>



福岡市ホームページアドレス <https://www.city.fukuoka.lg.jp/> ©編集／福岡市総務企画局企画調整部 TEL092-711-4086 FAX092-733-5582



このマークは目の不自由な方などが
使う音声コードです。

